

飛翔

発行責任者
平塚MAC
池田 忠宏



会歩く ケーブルは15分待ちで賑わう 紅葉の高尾山を歩く

秋も深まる11月13日
晴天の朝、平塚駅に通勤
や通学に急ぐ人達に混じ
り13名の参加者が7時50
分元気に集合。東京のアル
プス高尾山へと向かいまし
た。

藤沢、町田で乗り換え
たところで「歩く会」の先
輩中島さんの提案で、八



王子経由で高尾山口駅に到
着です。この駅には屋根統
きにて天然温泉が隣接され
ています。
ここから徒歩5分にてケ
ーブルの清滝駅へ、駅にはす
でに大勢の観光客。駅中央
では八王子市の観光大使、
北島三郎の等身大の黄金像
がお出迎えます。

紅葉シーズンのためケー
ブルの乗車には15待ちの長
い列。待つ間に大内さんは
中国語や英語を交え、隣の
列の台湾カプトルと寸暇の友
好交流です。
下車後一行は、なだらかな
坂を歩き土産店や猿園の
前を通り、高尾山薬師院へ
と向かいました。薬師院は
奈良時代、行基上人により
建立されたとか。

参詣のあと中島さんは体
力に合わせての別行動で、
当初の予定通り、下山して
温泉に向かいました。

山岳救助隊の 要請？で爆笑

他の一行は平塚MACの
旗を掲げた福島さんを先
頭に頂上を目指します。談
笑しながら楽しい山歩きで
したが、膝の痛みをこらえ
ながら、山歩きに挑んでい
た某氏が、突然足がモツレ
テ転びそうになりました。
周りからは「お酒の飲み過
ぎ？山岳救助隊を呼ぼう
か？」には本人を交え一同
大笑いでした。
山とは云つても、一部の
急な坂を除いては緩やかな
坂道。途中仏舎利塔の紅葉
を見ながらやがて頂上へと
着きました。

外国人客も混じり、大変
な賑わいの中、まず座る処
を探しての昼食です。でも
驚いたのはこれだけ多くの
観光客の中でも、ゴミが落
ちていないことでした。
山頂の西側には丹沢山
系、別の角度からは八王子
や都心の眺めを楽しみ、12
時45分に下山。コースの脇
を改めて見ると、一度落ち

パークゴルフの会

お昼は先輩達とのミニミニターニション

私は今年4月に平塚MA
Cに入会しましたが、パーク
ゴルフは最初から気になっ
ていました。これまで日程が合
わず10月に初参加し、まだ



たら登るのも非常に困難な
位の深い谷でした。
ケーブルの駅で、最盛期
の土日は1時間待ちと聞いて
驚きました。また高尾山
のケーブルは勾配度が日本
一を誇ります。まさに下り
は谷に落ちる感じです。
湯上りの中島さんとも落
ち合いホームに向かったとこ
ろで一人いないことに気が

付きました。そこで急遽3
名のメンバーが探しに戻り、
笑顔で無事に合流です。ケ
ーブルが混んでいるのを見
て、徒歩で下山したため、は
ぐれてしまったようです。そ
れも楽しい思い出として、相
模線を利用して、茅ヶ崎駅
経由で平塚駅に戻りまし
た。
歩く会 今込 祐弘 記

2回だけですが、感じたこと
を書かせていただきます。
初めに世話人の杉山さん
から「ゴルフをやっているの
で、すぐに慣れますよ。」と
のことで、勇んで始めたもの
のなかなか難しく、メンバー
の方々のプレーについて行く
のが精一杯でした。
ゴルフとの違いはすぐに始
められて、気軽にできるこ
ととホールが大きいので50
cm位のバットが緊張せずに
打てることでしょうか。スラ
イスやフックは出ませんが、
フターウエイのアンジュレ
ションが読めず、思わぬ方向
に曲がることやグリーンの方

傾斜が厳しく力加減が難し
い点です。
「パークゴルフの会」での嬉
しいことはスコアの良し悪し
だけではなく、お昼を食べな
がら先輩方とのミニミニター
ションが勉強になることで
す。まだまだ初心者です
が、仲間の方々に支えられ
ながら、これからも楽しませ
ていただきたいと思います。
欲を言えばゴルフとのシ
ナジー効果が得られると、
もっと嬉しいのですが……。
パークゴルフの手軽さと奥
深さを感じた次第です。
山本 和昭 記